

外国人市民会議 議事録

日 時	平成29年11月18日(土) 10:00~11:30
場 所	豊橋市役所東館13階講堂
参 加 者	外国人市民会議委員：6名、 事務局(多文化共生・国際課)：今泉課長、内藤主幹、藤江主査、三輪田

事務局：今年度1回目の「外国人市民会議」。今回は、はじめに東京オリンピック・パラリンピックに向けた豊橋市の取り組みについて紹介し、その後、東京オリンピック・パラリンピックをきっかけとした国際交流についてのアイデアについて、検討・議論していただきたい。今年度に入り、当方では管理職の異動もあったため、改めて自己紹介をお願いしたい。
(参加者、自己紹介)

事務局：では、東京オリンピック・パラリンピックに向けた豊橋市の取り組みについて紹介する。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会(以下、「2020東京五輪」)の開催は、様々な世代がスポーツに親しみながらスポーツの普及と発展に大きく貢献することが期待されている。また、世界的なイベントであることから、開催期間の前後には多くの外国人選手、大会関係者、外国人観光客が日本を訪れる。政府としては2020東京五輪に向け、全国の自治体と参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図るとともに、スポーツ立国・グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等に取り組む「ホストタウン」を推進している。

本市としてもスポーツだけでなく、観光振興、国際交流、文化、教育など様々な分野において広がりのある展開が考えられ、経済効果が期待できるとともに、世界に豊橋の魅力をPRする絶好の機会でもある。

そこで、日本のほぼ中央に位置し首都圏からのアクセスの良さや温暖な気候と恵まれた自然を持つという本市の優位性を活かして、キャンプ地誘致やスポーツ振興、観光振興、国際交流などにつなげるため、豊橋ならではの「おもてなし」

を実施し、全市をあげて「スポーツの普及・発展」「外国人観光の活性化」「国際交流の活発化」の3つを3本柱として取り組んでいく。

豊橋市の2020東京五輪に向けた取り組みについての説明は以上。さっそくみなさんの意見を伺いたいが、まずは、オリンピック・パラリンピックの応援気運を盛り上げるために、どのようにしたらよいか、みなさんの出身国でオリンピックや大きなスポーツ大会が開催された際の事例も含めて教えてほしい。

委員：マレーシアのクアラルンプールでは、アジア大会を開催したことがあるが、駅やビルでの看板による宣伝、タクシーやバスのラッピングなど、街のいたるところで宣伝が行われていた。

委員：北京で五輪が開催されたときに、同じ中国の南通市でも応援ムードがあった。豊橋も開催地である東京から離れているが、独自の応援マークを制作したり、街じゅうに旗を立てたりするなどして、アピールすべき。市がオリンピックを応援しているという雰囲気伝わると、市民の協力しようという意識も高まるのではないか。

委員：1996年のアトランタ五輪開催の際、オハイオ州トリード市では、何も盛り上がりなかった。ただ、1994年のサッカーワールドカップをアメリカで開催した際には、全米各地で試合が開催されたことや、近隣で練習試合が行われたこともあって、非常に盛り上がった。やはり、身近に一流選手と接する機会があると地域はとて盛り上がる。

委員：1988年のソウル五輪では、タクシー運転手やサービス業に関わる方々が、英語で簡単なあいさつができるようにしようというキャンペーンがあった。また、五輪観戦と一緒に釜山などを巡るバスツアーなどもさかんに行われていた。

委員：豊橋でも、オリンピック応援企画として、市内の店が割引で利用できたり、グッズプレゼントがあるとよい。また、豊橋は新幹線も通り、東京から京都や大阪、高山など。有名な観光地に行く際の中継点として、とてもよい立地。外からの観光客向けに、「泊まるなら豊橋」ということをもっとアピールしてよい。

委員：手筒花火をアピールする企画があってもよい。人が集まる駅前などで手筒花火を見てもらえることができれば、PR効果は高い。

委員：おでんしゃ、ビール電車などを走らせている市電も魅力的。市電を貸し切ってオリ

ンピック選手を招いたイベント開催も面白いのではないかと？

委員：南通市は、中国で最も金メダリストを輩出している町。南通市役所を通せば、豊橋でも中国のメダリストとの交流ができるのではないかと？

委員：豊橋市内でオリンピックの応援機運を盛り上げるには専用ブースのような何らかの拠点を設けて集中的にPRするとよい。

委員：例えば水上ビルをオリンピックスポーツPRのシンボルにする、などがよいのでは？

委員：一般市民がオリンピック競技を体験できるような、取組もあってよい。競輪場やアリーナなど既存のスポーツ施設を活用してできるようなものもある。

委員：そもそも、豊橋市がオリンピックを応援しているということをもっと知ってもらうことが必要ではないか？市役所が2020東京五輪を応援していることがわからないと、市民の応援気運は盛り上がらない。駅や人通りの多いところなど、とにかく目につくところに旗を立てるなど、まずは市役所が応援しているということを知ってもらう取組が先ではないか。

事務局：委員のみなさんにそれぞれの出身国で人気のあるスポーツは何か、教えてほしい。

委員：中国はサッカーが人気。それほど強くないが

委員：ブラジルではサッカーはもちろんだがバスケットボールも人気。

委員：アメリカはアメフトや野球、バスケットボールが人気だが、オリンピックについていえば陸上、水泳がメダル獲得数も多いことから人気が高い。

委員：韓国は野球、サッカー。

委員：マレーシアでは、バドミントンやスカッシュなど、インドアスポーツの人気が高い。

特にバドミントンは世界ランカーの選手もいる。

事務局：豊橋で一番多く住む外国人であるブラジル人に一緒に盛り上がってもらえるとしたら、サッカーがキーワードとなるか？

委員：バスケットボールも人気が高いため、バスケットボールも接点になりうる。

事務局：五輪観戦者はどの程度滞在するものか？

委員：韓国では、五輪開催の際に、1週間程度のツアーがたくさん組まれていた。1週間程度の人が多いいのではないかと。

事務局：五輪観戦者に豊橋に来てもらおうとするとどのような取組が必要か？

委員：観光で何度か来日経験のある人は、東京や京都ではなく、マイナーな観光地に行き

たがる。そうした観光客に訴えかける取組が必要。中国では団体ツアーが多いので、中国人を呼び込むならツアー会社と組んだプロモーションが必要。

いいん：手筒花火が体験できるツアーがあると面白いと思う。

いいん：手筒花火を作るところから打ち上げるところまで体験したことがあるが、だいたい1か月くらいはかかる。それだけ滞在してもらうのは難しいかもしれないが。

いいん：豊橋を宿泊拠点とした場合に、どんな観光地が周辺にあるかの情報提供が必要。周辺観光地と一緒に魅力をアピールするとよい。

いいん：きめ細かな情報提供のためには、外国語のできる人材を活用できるような仕組みづくりも必要。

いいん：私は『1リットルの涙』の原作の舞台が豊橋だと聞いて感動した。中国では、日本のドラマが好きな人の間では、このドラマは有名だったので、来日してそこに住むことになったことは感慨深い。

いいん：世界的に有名なものや公的な文化遺産があると人が集まりやすい。手筒花火を公的な文化遺産として申請してはどうか？

事務局：本日は時間がきたので、ここまでにする。意見があればメール等で教えてほしい。

次回は2月頃の実施を考えている。その中で議題にするテーマについて、何か意見があればまた教えてほしい。今後も引き続きよろしくお願ひしたい。

以上